

令和4年度 静岡県高等学校自転車競技 新人大会 実施要項

1. 主催 静岡県高等学校体育連盟 静岡県教育委員会

2. 後援 (公財) 静岡県スポーツ協会 (一社) 静岡県自転車競技連盟

3. 主管 静岡県高等学校体育連盟自転車競技専門部

4. 期日・会場・種目

【第1日目】

ロード競技 令和4年 10月23日(日) 《雨天決行》

会場 日本サイクルスポーツセンター内5キロサーキットコース

【第2日目】

トラック競技 令和4年 10月30日(日) 《雨天決行》

会場 静岡競輪場(400mバンク)

5. 競技種目・参加制限

【男子】

ア. 1kmタイムトライアル(TT)

イ. スプリント(SP)

ウ. 3kmインディヴィデュアル・ハーフシュート(IP)

エ. ケイリン(KR)

オ. 4km速度競争(MS)

カ. ポイント・レース(16km)(PR)

(ア 全員 イ～カー人2種目まで)

【男子・女子】

キ. インディヴィデュアル・ロードレース

(エントリー希望全員)

【女子】

1. 500mタイムトライアル(TT)

2. 2kmインディヴィデュアル・ハーフシュート(IP)

(1、2 全員)

6. 参加資格

- ・静岡県内の高校1・2年生で2022年日本自転車競技連盟登録者かつ令和4年度全国高体連自転車競技専門部登録者。
- ・必ず高体連登録済みの引率責任者がつくことができる者。
- ・2006年4月2日以降に生まれた者(4月2日を起算日とし、19歳未満の者)ただし、同一学年出場は1回限りとする。
- ・本大会並びに選抜大会同日の他大会への参加申し込みをしていない者。
- ・後述の「新型コロナウイルス感染症予防対策について」の内容を遵守することができる者。

7. 競技規則

2022年(公財)日本自転車競技連盟競技規則及び(公財)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部大会運営・競技運営確認事項による。また、本大会特別規則を用いる。

8. 参加申込

参加申込書に校長印を押印し、下記まで申し込むこと。

※申込先 〒410-2401 伊豆市牧之郷 892

伊豆総合高等学校 鈴木 将也

TEL 0558-72-3322 FAX 0558-72-1955

電子データ送信先 e-mail: s.masayakana@yahoo.co.jp

電子データのみ締め切り日までに送付ください。

参加申込書原本は大会当日に持参ください。

9. 締 切 令和4年9月26日(月) 17:00まで 期日厳守

大会要項・参加申し込み書は静岡県高体連 HP の大会情報よりダウンロードし申し込みください。

10. 備 考

競技中の疾病及び負傷は主催者側が応急の処置はするが、その後の責任は負わない。

11. そ の 他

- ・本大会の結果は令和4年度全国選抜大会の選考資料となる。
 - ・新型コロナウイルス感染症予防対策 について
- (1) (公財)日本自転車競技連盟が定めるガイドラインに則り対策を行う。詳細は後述の「新型コロナウイルス感染症予防対策について」を参照。
 - (2) 大会に参加するすべての関係者(選手・引率責任者・競技役員観戦者)は大会2週間前より検温を実施し、当日提出シートを提出するものとする。
 - (3) 大会終了後2週間以内に、参加者から感染者が発生した場合は、参加者の症状確認および保健所などの聞き取りに協力する。また、委員長の竹内まで連絡すること。
 - (4) 参加選手および観戦者は主催者が指定した場所以外は立ち入らないこと。
 - (5) 参加選手は走行中以外マスクを着用し、こまめに手洗い、アルコール消毒を行う。
 - (6) 体調不良・発熱がある者は入場を認めない。
 - (7) 観戦者については以下のようにする。
 - ① 体調管理表兼観戦に関する同意書を提出すること。
 - ② コロナウイルス感染症の状況によって、入場を規制する場合がある。
- ※会場の入場に際してマスク着用を義務付け、検温を実施する。

新型コロナウイルス感染症予防対策について

大会参加者の共通予防対策

1. 大会参加について

- 選手、監督、コーチ、運営スタッフ等（以下、大会参加者とする）の中に感染者が確認された学校については、大会へ参加することはできない場合がある。
- 大会参加者は、事前に大会参加者注意事項を読み全ての項目に同意した上で**参加同意書**を提出する。提出しない場合は参加を認めない。
- 大会参加者は、大会の2週間前から検温結果及び体調について**体調管理表【参加者】**に記録し、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加できないことを事前に承知する。また、大会当日は当日提出シートを提出すること。
- 体調管理表【参加者】はデータ集計後、顧問が学校にて11月末日まで保管しておく。
- 体調管理表に異常があった場合、もしくは自己判断・体調不良によって本大会を欠場するに至った場合でも、欠場によるペナルティーは課さない。

2. 移動について

- 大会参加者は、移動の際、可能な限り周囲との間隔を空けることとし、必ずマスクを着用する。併せて、可能な限り換気に努める。

3. 感染予防のための4つの基本行動

- ①体調管理とその報告
- ②マスク着用の徹底
- ③人と人との距離を確保
- ④こまめな手洗い、手指消毒

大会開催中の予防対策について

1. 選手、監督、コーチの感染予防対策

(1) 集合時の感染予防対策

- 大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。
- 大会参加者は、施設に出入りする際、手指消毒剤をする。
- 大会参加者は、集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。

※入場口にて全員の検温を実施し、発熱がある者の入場は認めない。

(2) 待機中の感染予防対策

- スポーツを行っていない待機中や会話をする際はマスクを着用する。天候条件により、息苦しさを覚えるようであれば、マスクを無理に着用しない。
- 大会参加者は、個人間の距離（できるかぎり2m以上）を確保し待機する。
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
- 飲食は指定の場所以外で行わず、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話をなるべくせず速やかに食事をする。

○トイレ使用時はふたを閉めて汚物を流すようにし、手洗いはハンドソープを用い 30 秒以上しっかり手指を洗浄すること。また使用時以外ドアは開放した状態にする。

(3) 試合中の感染予防対策

- 選手は、ウォーミングアップ及び、試合中はマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
- 運動時、またそうでない時も周囲の人と距離を空けること。
- 試合中、選手は唾や痰をはくことをしない。
- 試合中、選手、監督、コーチは大きな掛け声、応援等をしないこと。但しタイムトライアル、インディヴィジュアル・パーシュート、危険回避のための声かけはその限りでない。
- ボトルの回し飲み、水道の飲用は禁止とする。タオルの共用はしない。
- 会場で具合が悪くなった際は速やかに申し出ること。

(4) 試合後の感染予防対策

- 大会参加者や観戦者が出したゴミは各自で持ち帰ること。
- 参加者並びに観戦者等に感染者が発生した場合には、参加者・観戦者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保し、参加者・観戦者は保健所などの聞き取りに協力する。また、各校顧問に報告し、顧問は委員長に報告すること。
- 試合後のミーティング・集合写真以外の写真撮影は禁止とする。

2. 観客に対する感染予防対策

観戦は体調管理表【観戦者】の提出がない方の観戦は認めない。また、コロナウィルス感染症の状況によって、入場を規制する場合がある。

(1) 受付時・試合観戦時における感染予防対策

- 観客は、必ずマスクを持参し、着用する。
- 大会当日、入場時に検温を実施、発熱等の症状がある者は入場できない。
- 観戦中は、周囲との間隔を十分空けるとともに、集団となつての応援、発声による応援は行わない。
- 飲食をする際は、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとり、会話を控えめにして速やかに食事する。また、水分補給は個人のものを用意し、まわし飲みはしない。タオルは共用しない。

(2) 試合後の感染予防対策

- 大会参加者や観戦者が出したゴミは各自で持ち帰ること。
- ※上記の対応を守れない観戦者は退場いただく場合がある。

3. 運営スタッフの感染予防対策に係る動向

競技運営スタッフとは独立する形で新型コロナウイルス感染症対応スタッフを配置し、場内の消毒や参加者・観戦者の予防対策を徹底させる。

(1) 服装

- 運営スタッフ

マスク（予備 1 枚）、手袋（予備 2 枚）

（2）選手待機場所、待機中における感染予防対策

- マスク着用を促すため、また大会参加者や観戦者に対し、飲食時の会話や距離の注意を促すため定期的に場内アナウンスを行う。
- 参加者並びに観戦者等に感染者が発生した場合には、参加者・観戦者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。

（3）大会中の感染予防対策

- 大会参加者や観戦者に対し、大会中に大きな声で会話、応援等をしないよう定期的に場内アナウンスを行う。
- 運営スタッフは、試合中、業務上必要な時以外は、大きな声で会話をしない。
- 運営スタッフは、選手の呼気の影響を避けるよう、配置に注意して業務にあたる。
- 会場で具合が悪くなった者が出た際は、速やかに報告させる。

4. 会場設備

（1）アルコール消毒の配置

- 観戦受付、招集場所、競技本部テント、トイレと手洗い場等にアルコール消毒液を設置する。
- バンク入退場時は参加者の手に吹きかけ消毒を徹底する。

（2）定期清掃業務

- 1時間おきに巡回し、ドアノブや椅子などを消毒する。
- ※スタッフは作業が終わった際着用していた手袋を必ず交換する。
- ※担当者は業務後必ず手洗いうがい、手袋の交換を実施する。
- スタッフが付け替えで使用済みのマスクを捨てなければいけない時は、ポリ袋に入れ口を縛り密閉した上で専用のごみ箱へ捨てる（手袋も同様）。

（3）掲示物

- トイレや座席、受付など各所に掲示物を張り、感染症拡大防止に全員で取り組む。
- 座席の背には掲示物を掲示し、場内アナウンスでも定期的に注意を呼び掛ける。

（4）手洗い場、トイレ

- 液体ソープ、ペーパータオル、アルコールスプレーを常備する。
- 使用後は30秒以上手の手洗いを促すようポスターを張る。

（5）医療体制

- 落車対応するスタッフは必ず手袋・マスク・を着用し、一度使用した担架等は都度十分に消毒を行う。

5. 大会中止判断について

- 主催者は、緊急事態宣言やコロナウィルス感染者増加等による社会情勢の変化により大会直前、期間中に関わらず大会中止を宣言することがある。
- 主催者は、大会参加者・関係者から新型ウィルスの感染者が確認された場合、もしくは感染者の濃厚接触者と判断された者が出た場合、直ちに大会中止を宣言する。

提出書類一覧

No	書類名	提出方法	期日
監督提出書類			
1	参加申込書(データ)	メール	9/26
2	参加申込書(原本)	監督打ち合わせ時	大会当日
3	大会参加同意書	監督打ち合わせ時	大会当日
4	救護用記録	メール(郵送も可)	10/20
5	当日提出シート 体調管理表	監督打ち合わせ時 集計後各校にて保管	大会当日
保護者提出書類			
1	体調管理表	原本	大会当日
2	大会観戦同意書		